

令和6年11月せとまちトーク

(市民と議会の意見交換会)

総務生活委員会 11/9 Aグループ

①テーマ

No. 1 地域防災について

～南海トラフ地震が起きたらあなたはどうする？～



②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

<p>【備蓄】</p> <ul style="list-style-type: none">・食料と水の供給は十分か？どこに行けばよいか？など周知してほしい・物資供給拠点の問題・オムツ、ミルクなどの供給について、子育て世帯で共有されているか・想定外の被害にはどう対応するかが課題	<p>【町内会】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域力が必要・家族がバラバラになった時にどのように集合できるか・ご近所どうし頼りになるはずだが町内会の弱体化が課題・地域の防災資源をどうか・防災意識を高める	<p>【個別避難】</p> <ul style="list-style-type: none">・外国人の問題・高齢者が多い地域での防災・単身高齢者や障がい者の方の避難行動計画が必要・自助が一番大切であり非常食をどの程度用意すれば良いか分からない
<p>【ハード面の問題】</p> <ul style="list-style-type: none">・避難所が遠い・現状の防災体制をよく知らない・被災した時にハード面は大丈夫か・耐震化が終わっていない橋は整備が必要・避難所についての周知	<p>【事業所との連携】</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時に避難所として使用できる事業所を募集する	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・亜炭鉱の問題・猛暑対策



③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政

地域 その他

<p>【備蓄】</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時に備蓄をどのようなルートで受け取れるか周知する・実例を参考に備蓄増加・一時避難所に食料水などを供給する <p>【避難所】</p> <ul style="list-style-type: none">・避難所の再認定・避難所の協力をしてくれる事業所には優遇する・近くの企業と提携（協定締結）する・福祉避難所の充実・体育館のエアコン設置 <p>【計画】</p> <ul style="list-style-type: none">・役所の部課をこえ地域特色に則した計画を作成・企業BCP計画に近所への支援を入れるよう依頼する <p>【町内会】</p> <ul style="list-style-type: none">・町内会費を税金で賄う <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・亜炭鉱の図面を国に作ってもらい把握する・クーリングシェルターの設置	<p>【町内会】</p> <ul style="list-style-type: none">・各町内で規約を作り加入率を上げる努力をする・町内会の加入、非加入で差別化する・町内会加入を義務にする・組長は民生委員にお願いする
---	---

④まとめ

- ・地域には企業がある→協力関係を築く
- ・命を守る町内会にする「向こう三軒両どなり」
- ・避難所を抜本的に見直す！遠くでは意味がない！
- ・社会的弱者及び外国人の方への配慮を計画に反映させる！

令和6年11月せとまちトーク

(市民と議会の意見交換会)

総務生活委員会 11/9 Bグループ

① テーマ

No. 1 地域防災について

～南海トラフ地震が起きたらあなたはどうする？～



② テーマに対してあなたが考える課題・問題点

<ul style="list-style-type: none">・ 陶生病院の災害時の駐車場の使い方・ 水の確保（個人の意識、給水車補充）・ 減災の取り組みが不十分・ 年1回の避難訓練では足りない・ 瀬戸川は氾濫しないか？・ 消防本部の老朽化・ 初動が肝心！必要な第一歩がとれるか・ トリアージの体制がとれるか	<ul style="list-style-type: none">・ 公助が3日間は機能しない・ 自力救済がどこまで？・ 自助をどうするか市民の危機意識・ 携帯が使えなくなり情報が届かない・ 災害情報をどのように集めるか・ 企業との協力体制つながりが見えない・ ペットと一緒に避難できない・ 仮設トイレ数が不足しないか？
--	--



③ 課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政	地域	その他
<ul style="list-style-type: none">・ 貯水機能付給水整備（6000ℓ）・ 水源地の耐震化で自己水を守る・ 消防署の建替え・ トリアージ訓練の増加・ 南海トラフが起きた場合の全市シミュレーションを作る・ 分散避難も有効であり促進する・ 実際の避難者数に見合う仮設トイレの増設	<ul style="list-style-type: none">・ 南海トラフが起きた場合の自治会レベルのシミュレーションを作る・ 自治会で事前に災害対策を十分に検討し、情報共有する	<ul style="list-style-type: none">・ 企業等との協定について確認しておく・ 職種ごとのボランティアづくり（例）飲食店のボランティアが炊き出しを行う

<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸に特化した災害の可能性を知らせる学習会を市が実施 		
<ul style="list-style-type: none"> ・要援護者のトリアージを普段の訓練の中で行い、順番を待つ経験等を通して知ってもらう ・公助が全く機能しないことを前提に災害・防災対策を立て、自助に対する意識を向上させる ・防災倉庫は役所の管理ではなく、信頼関係の下、地域（自治会等）に管理を任せる ・避難した人たちで避難所を運営するためのマニュアル作成 ・ペットと避難したい方のためのマニュアル作成 		

④ まとめ

【自助】 住民への災害に対する危機意識をどのように維持していくか

【共助（協助）】 地域のつながり、自治会だけではない日頃の活動

【公助】 ハード（本部庁舎）は行政の責任になるため施設の管理に責任をもつ

令和6年11月せとまちトーク

(市民と議会の意見交換会)

総務生活委員会 11/10 Aグループ

①テーマ

No. 1 地域防災について

～南海トラフ地震が起きたらあなたはどうする？～



②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

<p>【公助】</p> <ul style="list-style-type: none">・想定外のことが起こった時にどう対処するか・市役所にあてにならないことを前提に、災害時には「両隣→組→町内→自治会→市」の流れで伝達することが周知されていない	<p>【共助】</p> <ul style="list-style-type: none">・災害時に近所同士で助け合える地域力の強化が必要・町内会の加入率低下で情報伝達が難しくなっている・地域差がある・地域住民を巻き込んだ防災活動が必要	<p>【自助】</p> <ul style="list-style-type: none">・公民館、自治会の役員だけで問題を共有して一般市民には伝わってこない
<p>【要介護者】</p> <ul style="list-style-type: none">・高齢者や障がい者等の避難行動計画を具体的に示してほしい・外国人住民との情報共有	<p>【情報】</p> <ul style="list-style-type: none">・市に被災状況を確認するための、連携のルールが必要	<p>【避難所】</p> <ul style="list-style-type: none">・支援物資の配給先を把握するのが大変・指定避難所が遠い（特に調整区域）・災害級の暑さに対する避難所の環境整備



③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政

地域

その他

<ul style="list-style-type: none">・市役所はあてにならないことを周知徹底する・自助を高めるために役所がもっと具体的に動く	<ul style="list-style-type: none">・自治会や町内会の加入率を上げることで、情報共有や伝達を広げていく・自治会役員は、自分の地元の様子を確認する	<ul style="list-style-type: none">・家族の安否確認を電話やLINEで行う・職場から地元に駆けつける
<ul style="list-style-type: none">・防災リーダーを育てる・市と自治会が、公助を整えるために、事前に話し合っ てルール化しておく打合せのテーブルが必要・役所と自治会の相互連携を充実させる		

④まとめ

- ・公助はすぐには届かない！
- ・自助が大切
- ・生命を守るためにも町内会に加入する

令和6年11月せとまちトーク

(市民と議会の意見交換会)

総務生活委員会 11/10 Bグループ

①テーマ

No. 1 地域防災について

～南海トラフ地震が起きたらあなたはどうする？～



②テーマに対してあなたが考える課題・問題点

- ・消防本部の老朽化
- ・水の確保、災害時に供給されるか
- ・上下水道の耐震化
- ・外国人への支援（言葉の問題、情報の伝え方）



③課題・問題点を解決するにはどうしたらよいか（手法）

行政

地域

その他

<ul style="list-style-type: none">・消防庁舎の更新・有事にはお金も必要のため財政を増やす・道路沿いの特定空き家の把握と実態調査を行う	<ul style="list-style-type: none">・災害時に公助をあてにしない	
---	--	--

④まとめ

Summary area for the discussion, currently blank.